



[AMERICA NOW]

**激化懸念された米中ハイテク摩擦
中国側の譲歩で急転直下の沈静化** ②

**ピープル買収に戦々恐々
防衛策に奔走したMS、IBM** ④

[JAPAN NOW]

IT部門軸に攻めの経営へ—兼松 ⑥

CGソフトをネット経由で社外販売—鹿島 ⑦

豊の国ハイパーネットを民間開放—大分 ⑧

広域電子カルテ4都市結ぶサーバー開発へ—熊本 ⑩

[WORLD TOPICS]

携帯大手ヴァージン・モバイルが株式公開—英国 ⑫

政府は携帯電話の全国カバーに躍起—マレーシア ⑬

[IT WATCHER]

伸びる余地あるDDIポケットのデータ通信 ⑭

(安達 保 カーライルグループ・マネージングディレクター在日代表)

[政策・地域動向]

学校のIT化で協議会設立—文部科学省 / IC タグ、日中韓で規格統一し05年度にも実用化—総務省 / 中央官庁の職員証をICカードに—内閣官房 / 電子県庁推進で民間から任期付き職員採用—宮城県 ⑮

[NEWS FILE]

戸建住宅にも光で番組配信=スカパー / 電子書籍サービスを本格展開—au / 他国語携帯で日本語メール=オムロン子会社 / ボーイングの機内ネット接続を法人で初契約=独シーメンス / 携帯電話使い市場調査—マクロミル…など ⑯

▶ URL
<http://www.jiji.com/service/it/>
▶ ご意見・ご感想
it-editor@jiji.co.jp
▶ 購読申し込み
TEL 0120-19-8752 (顧客サービス部)
E-mail customer-s@jiji.co.jp



JIJI PRESS
時事通信社

広域電子カルテ稼働4都市結ぶ 新サーバーを今年度中に開発

データセンターとして使えば基盤弱い地域への導入に弾み

インターネット上で患者や複数の医療機関が同一の電子カルテを共有できるシステム「ドルフィン」を稼働する熊本、宮崎、東京、京都(来春稼働予定)の4都市を結ぶ新サーバー「スーパードルフィン」が今年度中にも開発される見通しだ。稼働時期は未定だが、実現すればスーパードルフィンデータをデータセンターとして活用することで初期投資が大幅に節減。システム基盤のない地域で電子カルテの共有化システムの導入にも弾みがつきそうだ。

4都府県のドルフィン を統括—スーパードルフィン

ドルフィンとは、熊本大学OBなどでつくる財団法人肥後育振興会と宮崎県医師会、宮崎医科大学が2000年度に経済産業省の推進事業として共同開発。各医療機関の異なる電子カルテのデータを共通の言語規格(MML)で変換しカルテに互換性を持たせるのが特徴だ。これにより患者が自分の診療記録を自宅でも確認でき、診療所や大学病院など治療目的に応じて複数の医療機関を利用した場合でも、一貫した病歴と診療経過が電子カルテに記録される。

スーパードルフィンとは、このドルフィンの上位システムとして位置付けられ、ドルフィンを開発した京都大学大学院の吉原博幸教授らが中心になって進めている。

熊本、宮崎に加え、今年4月に「HOT

project (Health of Tokyo)」としてドルフィンの運用を開始した東京都医師会、来年度に運用開始を目指す京都の各システムが、この新サーバーの下で統括管理されることになる。

スーパードルフィンとは、①データベース機能②スーパーディレクトリ機能③医療データバンクの3機能を柱に開発。今年中にも開発のための新会社が東京都に設立の見通しだ。

経済基盤弱い地域でも DB借りれば初期投資圧縮が可能

スーパードルフィンとは、各地域が自前で開発すれば数億円かかるとされるデータセンターの役割(データベース機能)を担う。このため経済的基盤の弱い地域医療プロジェクトでも、スーパードルフィンからデータベースを借りることで、初期投資を抑えながらサービス提供を開始することができるという。



デジタル化で何もしなければ将来の リスクに —ペンタックスの浦野文男社長

▷…「デジタル化が急速に進んでいるが、当社はその分野の技術が若干遅れている」と危機感を抱くのは老舗のカメラメーカー、ペンタックスの浦野文男社長(61)。同社はこのほど中期経営計画をまと

めたが、中でもデジタル分野の事業強化は最優先の課題となっている。

▷…「何もしなければ将来のリスクになってしまおう」と懸念。「弱みを強みに変えていく」という強い信念の下、これまで培ってきた光学技術にデジタル技術を融合させたビジネスに取り組む。

特に急成長が続くデジタルカメラ向けのレンズシステムに期待。「設計から製造まで請け負って事業を拡大したい」と営業部隊にハッパを掛けている。

また、スーパードルフィンには、各都市で登録された患者情報を総合的に管理するスーパーディレクトリ機能も持つ。これまでは、転勤などにより別の都市で診療を受けた場合、新たな電子カルテが作成され、一人の患者が複数の都市に電子カルテを所有してしまうため一貫した病歴や治療歴を残すことができなかった。

しかし、スーパードルフィンには、各地域プロジェクトの患者に最高位のIDを割り当てることで、転勤などで各都市を移動した場合でもこれまでの電子カルテを探し出し、一貫した診療記録を残すことができるようになるという。「複数の銀行口座を『名寄せ』する感覚に近い」と吉原教授は説明する。

データ活用で得た利潤を 運営費に—医療データバンク構想

さらにスーパードルフィンには、電子カルテのセンターを運営する上で、最大の課題となっていた資金不足の抜本的な解消を目指す医療データバンク機能を打ち出している。

電子カルテは、医療機関や国、自治体などが運営資金を負担しながらサービスを開始しているが、最終的には利用者が支払う利用料を財源に充てるモデルが一般的とされてきた。しかし、熊本でセンター運営に携わってきた吉原教授は、「目に見える電子カルテなどの利用には有料でも支払うが、センターのような共有基盤には資金が集まりづらい」と指摘。患者が利用料を負担し続ける運営方式の将来性を疑問視している。

医療データバンク機能は、患者を銀行の「預金者」、医療データを銀行の「預金」と位置付け、銀行が資金運用するように、データを民間企業や医療機関の治験や新薬開発に活用することで、利潤を生み出し、運営費の財源に充てる構想だ。

医療データはこれまで、プライバシーなどの観点から患者のためだけに使われてきた。しかし、吉原教授は「匿名化したデータを積極的に運用することによって、センター運営などの基盤システムの維持を図るだけでなく、新薬開発や、新治療法の開発など、社会的に大きな利益

をもたらせるはず」と強調する。

考え方を「利用者負担」から 「データ提供の対価」に転換

個人情報の厳格な保護など課題も多いが、スーパードルフィンは従来の「利用者負担」から「データ提供の対価としてのサービス」へ運営形態を180度転換したモデルともいえる。

今後、各地域プロジェクトが単独で採算が成り立つようにするのは困難。また、安定したサービスを展開するためには、国や自治体の補助金に依存し続ける形態にも限界が見える。電子カルテを新たな臨床サービスの提供と医療の質の向上につなげられるかが今後の焦点となりそうだ。
(熊本支局・橋本卓典)

【関連用語】

- ▶ **ドルフィンプロジェクト (Dolphin Project)** = 情報共有型電子カルテによる熊本地域健康福祉オープンネットワーク。
= <http://www.kuh.kumamoto-u.ac.jp/dolphin/>
- ▶ **MML = (Medical Markup Language、電子カルテ情報交換規格)** = ドルフィンが開発した電子カルテ用の共通言語。異なる医療機関(電子カルテシステム)の間で、診療データを正しくやりとりするための規格。ホームページ記述言語であるHTMLの1種のMMLを共通言語にしてセンターにあるサーバーに装備することで、カルテの読み書きなどに関してセンターとの情報交換ができる。[<http://www.seagaia.org/WhatIsMML/>] [<http://www.medxml.net/mml30/021115.html>]

【関連サイト】

- ▶ **熊本大学** = <http://www.kumamoto-u.ac.jp/univ-j.html>
- ▶ **財団法人肥後医療振興会 (Higo Foundation for Promotion of Medical Education and Reserach)** = <http://www.kin21.com/higo/>
- ▶ **宮崎県医師会** = <http://www.miyazaki.med.or.jp/>
- ▶ **宮崎医科大学** = 2003年10月1日に宮崎大学と合併し、宮崎大学医学部に。 <http://www.miyazaki-med.ac.jp/>
- ▶ **東京都医師会** = <http://www.tokyo.med.or.jp/>
- ▶ **東京都医師会地域医療連携プロジェクト** = <http://www.ocean.shinagawa.tokyo.jp/hot>

【関連情報】

- ▶ **吉原博幸・京都大学大学院教授** = [<http://lob.kuhp.kyoto-u.ac.jp/>] [<http://www.seagaia.org/yoshihara/yoshiharaPro/yoshiharaPro.html>]
- ▶ **ひご・メドポータルサイト(熊本のシステム)** = <http://www.higo-med.jp/>
- ▶ **はにわネット(宮崎のシステム)** = <http://www.haniwa-net.jp/>
- ▶ **東京ベイ・メディカルフロンティア研究会(東京のシステム)** = <http://www.nursing-plaza.com/column/200306/02.htm>
- ▶ **MedXML コンソーシアム** = <http://www.medxml.net/>
- ▶ **MedXML コンソーシアム年次総会** = <http://www.seagaia.org/sg2004/>